

# 柏木教会月報

6月号

東京都新宿区北新宿3-1-18 ☎ 03-3368-2156

## 御靈の初穂を受けた私たち

ローマの信徒への手紙八章二二二七節

牧師 大浦 勝

被造物だけでなく、『靈』の初穂をいただいているわたしたちも、神の子とされること、つまり、体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望んでいます。（二二三節）

聖靈は降つて来て、わたしたちの内に宿り、わたしたちにキリストを証しし、わたしたちをキリストに結び合わせて、十字架と復活の恵みにあづからせ、キリストのいのちに生かされて生きる者としてくださる。わたしたちは聖靈のこのみわざによって、キリストを信じる者としてこの世を生き、与えられる賜物によって神のみわざに仕えつつ歩む。それは大きな喜びである。キリスト者の生を際立たせているのは聖靈による喜びであり、この喜びをわたしたちから奪い去ることのできるものはない（ヨハネ一六・一二）。

しかし、この喜びは大きなうめきを伴つたものである。わたしたちは「神の子とされること、つまり、体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望んでいます」（二二三節）。わたしたちはすでに神の子とされ、キリストの十字架によって贖われて神のものとされているが、ひとりの人間として今を生きているわたしたち自身は、到底そのような者は思われない、かけ離れた在り方・生

き方をしている。試みの中で苦しみ、困難や悩みの中でも弱り果て、病氣になり、明らかに死に向かつて進んでいる。神を疑い、つぶやき、毎日罪と過ちを重ねて、神の子であり、神のものとされているという輝かしさからはほど遠い在り方・生き方である。一方には御靈が与えてくださる喜びと輝かしさがあり、他方には罪と過ちを重ね、苦しみ、悩み、弱り、死に向かつているわたしにいる。その中でわたしたちはうめくのである。

わたしたちに与えられている聖靈は「初穂」と呼ばれている。聖靈は、神が約束していくくださる完全な救い、やがてわたしたちがあずかる栄光の前触れであり、わたしたちにそれを味わわせてくださると共に、わたしたちがそのような将来に向かって進んでいることを保証してください。「この聖靈は、わたしたちが御國を受け継ぐための保証」である（エフェソ一・一四）。将来の完全な救いと栄光についての前触れを受け、保証をうけているので、わたしたちはそれだけ深く今の自分のみじめさと弱さとはかなさを知ることになる。それだけ切に約束されている救いと栄光を待ち望むことになる。「自由が近づくと、鎖の痛みが始まる」。

わたしたちが現に見ているのは、自分のみじめさと弱さとはかなさである。わたしたちは毎日それを見、経験している。しかし、わたしたちは内に宿つてくださる聖靈の証しを受けて、目に見えないもの、神が約束していくくださる完全な救いと栄光を見つづ、忍耐して待ち望む。神はわたしたちに聖靈を注いで、その約束が確かにすることを保証していくくださるからである。